

2023年度委員会事業報告書

グループ名 シン・豊川まちづくり推進グループ

委員会名 人と地域をつなげる交園委員会

担当副理事長 安室 正広
委員長 田中 宏樹
副委員長 大島 孝公
副委員長 三宅 英雄
総括幹事 伊藤 壮眞
拡大幹事 松井 祐介
運営幹事 渡辺 純
運営幹事 丸山 拓実
広報幹事 大石 未来
アドバイザー 大石 宗弘



【担当事業及び担当例会】

市制 80 周年記念事業 4 月公開例会 赤塚山 NIGHT PARK ～これからの公園の姿～
10 公開例会 JC フェスティバル

【実施効果及び成果】

4 月公開例会

赤塚山公園の 30 周年のオープニングイベントとして、夜も遊べる公園を目指し、赤塚山 NIGHT PARK を行いました。若者層から家族層をターゲットに音楽フェスを開催し、ビートボックスの日本チャンピオン、プロダンスチーム、特別ゲストとし DJKOO 氏を招きました。またメイン演出として、しあわせを感じる時間として、願いをこめたバルーンランタンリリースを実施しました。ランタンは幻想的な演出となり、来場者の心掴み、とても綺麗など記憶に残る言葉をいただきました。

来場者はおおよそ 3500 人になり、アンケートでは、また来たい、夜の公園をもっと利用したいという声も多くいただきました。その赤塚山公園ではイルミネーションを生かした事業も展開され、赤塚山 NIGHT PARK の実例が利用されています。

10 月公開例会

桜ヶ丘公園のテニスコートの廃止が決まり、その後の利用方法が定まってなく、社会実験として 4 月例会のアンケート結果の一部を参考に BBQ 大会を実施しました。参加者は今年一年豊川青年会議所の事業に携わっていただいた関係者をお招きし、それぞれの課題は私たちの課題だと当事者意識の醸成が図れるよう交流を深めました。BBQ 会場としてのアンケートは参加者全員か

ら BBQ 会場として良いと回答いただきましたが、近隣の方からは路上駐車や治安悪化の心配などの声もいただきました。

【反省並びに今後の課題】

4 月例会では大きな予算がかかる中、事業全体の構築が定まっていない部分があり、仕様の変更があり、予算の増額が審議通過後に発生し、結果として決算時に赤字になってしまいました。予算の変更について補正をかけましたが、事業後に増額となって請求がくる自体となり、ずさんな運営となりました。見積もり段階で予算の変更がないように、契約書や請書を交わす、発注書の作成など事業後に予算が追加とならないことが必要です。

【委員長所見】

4 月公開例会では、新しい公園の形として、10 年前におこなったKANのコンサートも意識し、夜の音楽フェスの開催となりました。若者から親子までを視野にいれ、アーティストを決定することは難しく、DJKOO氏はどの年代も盛り上げてくれる最高のエンターテイナーでした。またしあわせを感じる時間の形は本当に悩み、実装したバルーンランタンは天候にも恵まれ最高の演出となりました。表向きはとても良い事業でしたが、運営では著名人のセキュリティの甘さがあり、噴水イベントでは来場者の制御できず、ゲストに危険が及ぶ可能性もあり、音楽フェスでは来場者が押し込みあい将棋倒しになりそうな場面もみられました。大きな事業ほど、それぞれの場面で担当が必要になり、そのブースで一つの例会とみるような作りこみが必要です。多くの人数が集まり、討議を重ね、より完成度の高い議案を構築することで、シミュレーションの精度が高まり、リハから本番に向けてスムーズな進行ができます。

長くなるので 4 月例会のことで止まりますが、振り返るともっとやれたと思うこともあり、まだまだ満足できる結果ではありません。この事業をとoshi、安室副理事長には多大な支援をいただきありがとうございました。また時間を絶え間なく使ってくれた委員会とヘルプのメンバー、そして相談にのってくれた方も本当にありがとうございました。

自分のためにではなく、相手のために想い行動する事が大切だと改めて実感した 1 年でした。この事業がどんな形であれ来年度以降に経験として生きてくれたら幸いです。

【担当室長所見】

4 月例会と 10 月例会を担当させて頂きました。まずもって本例会は市制施行 80 周年記念事業ということで、事業実施日と場所が決まっている、という本来の事業とは異なる形で事業計画を進める必要がありました。新型コロナウイルスの影響は少なくなったとはいえ、どのような事業が効果的かという点で非常に悩ましかったですが、多くの方々のアドバイスもあり、夜間フェスを開催するということになりました。予算の問題や人員確保等、たくさん問題が本当に事業実施の当日まで抱えていましたが、何とか事業を終えることができました。普段の例会と比べ出席率も高かったのは、この事業の注目度が高かったことも一つの要因と思われます。ご協力いただいたメンバ

一の皆様、誠にありがとうございました。また10月例会では廃止されたテニスコートの活用方法を模索する中で、BBQ施設の不足という課題に着目し、事業実施しました。BBQというコミュニケーションツールを活かしながら、今年1年共に事業を行った関係者の皆様と交流することができましたが、4月例会と比べ尻すぼみになってしまったことは心残りでした。

最後に、田中委員長が予定者段階から議案を上程し続け、やり切ってくれたことは、副理事長として非常にありがたく、心強く思いました。田中宏樹委員会を皆さんで支えてくださり、ありがとうございました。